

核兵器をなくそう！ 被爆者を支援しよう！

# 核兵器廃絶 ネットワークみやぎ

核廃絶ネット通信

第7号

2023年

2月27日発行

## 核兵器のない世界を目指す思い を共有できた2周年記念イベント



1月20日（金）福祉プラザにおいて「核兵器禁止条約発効・核兵器廃絶ネットワークみやぎ発足2周年記念イベント」を開催しました。75人の参加でした。

開会のあいさつで、核廃絶ネットの木村緋紗子代表が、政府は中国、北朝鮮、ロシアなど周辺国の安全保障上の懸念を表明し、国民に対し危機感を煽り、戦後日本の防衛政策の大転換を明記した「安保関連3文書」を閣議決定したことは問題、5月に広島市で開催するG7サミットの際に、各国首脳に原爆被害者の実相を知ってほしい。そして、日本被団協代表と話し合いの場を作ってほしいなど、首相に対する要望を出す準備を進めていることを表明しました。



第一部は、チェロとピアノの演奏会が行われ、宮城県原爆死没者追悼平和祈念式典で毎年演奏しているチェリスト塚野淳一さん、日本政府に禁止条約署名・批准を求める署名の宮城県内呼びかけ人のピアニスト稲垣達也さんがクラシックやタンゴなど、息の合った重奏を披露し、参加者が聞き入っていました。

第二部は、林田光弘さんが「未来は私たちの手のなか—核兵器のない世界をつかむために私にできることを考えよう—」と題し、オンラ

イン講演を行いました。林田さんは、長崎市出身の被爆3世、高校時代、核兵器廃絶を訴える署名を国連に届ける「高校生平和大使」を務め、NPT（核兵器不拡散条約）再検討会議にも参加。「ヒバクシャ国際署名」キャンペーンリーダーを務めるなど、核の被害を多くの人々に伝えるため活動しています。核兵器の問題を自分事として捉えてもらう、問題の深刻さを実感してもらうため、被爆の実相のオンライン・デジタル化や新聞意見広告などへの取り組みについて報告がありました。「ロシアによるウクライナ侵攻において、核被害のリアリティのない人たちが核議論をしていることに怖さを感じる。核兵器の廃絶につながるの考えのもと、1968年に成立、1970年に発効されたNPTが、今の状況下で重要性を増している。核兵器の開発や保有、使用などを禁止する核兵器禁止条約が発効して、22日で2年になる。私たちにできることは、核兵器の非人道性を学び、私たちの問題であるという認識を持ち発信し、共感をひろげること、そして、被爆者の思い・証言を自分事として、広げていくこと」と話されました。



閉会のあいさつを事務局の大沼悦子さんが行い、核廃絶運動への決意と署名への協力、会への賛同を訴えて終了しました。

また、参加者から25,211円のカンパが寄せられ、3名の加入申し込みがありました。

## 核廃絶ネット第1回総会開催

2022年11月25日（金）、仙台市福祉プラザにて第1回総会を開催しました。参加者数は30人でした。

総会に先立ち、40年余りにわたって、4コママンガ「おり鶴さん」を日本被団協の月刊新聞に連載した漫画家、日本被団協の元事務局次長でもあった西山進さんが10月6日に亡くなられたことから、TBCのNスタみやぎの特集（8/31放送）「最後の被爆漫画家」のビデオ（6分間）を上映しました。その後、西山進さんのご冥福を祈り、黙禱を行いました。

木村緋紗子代表開会のあいさつの後、ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会事務局の栗原淑江さんに、「被爆者とその運動から学びつつけて」というテーマでご講演いただきました。原爆被害者調査をつうじて、原爆医療法や原爆被爆者に対する特別措置法でさまざまな制約があり、被爆者が求めてきたものとは食い違っていたこと、「原爆被爆者対策基本問題懇談会」が『国をあげての戦争による一般の犠牲として、すべての国民がひとしく受忍しなければならない』と、戦争を肯定した原爆被害「受忍」論だったことに怒りが湧いたと言います。被爆者に「自分史」を書いてもらい一人一人の被爆者のあゆみを記録に残す取り組みに着手し、被爆者の原爆とのたかひの記録を「記憶遺産」として残す運動を続けてこられました。その記憶を受けつぐための拠点、継承センターの設立をめざす中で、継承すべきは原爆後を生きてきた人間の歴史・丸ごとの人生、そして、継承に主体・当事者は、“ノーモア・ヒバクシャ”を願い運動する私たち自身であることが分かったという、感動的なお話でした。

第1回総会では、会費制への移行も含めて全議案承認されました。発言では「方針に、“ノーモア・ヒバクシャ”の拠点となるよう取り組むことを入れてはどうか。」「核廃絶ネットの取り組みに関する情報を、会員団体のHPにも掲載してもらってはどうか」などが出されました。また、1団体5個人から加入の申し込みがありました。ご参加の皆さん、ありがとうございました！



## 1月22日 2周年記念街宣

核兵器禁止条約発効2周年記念の1月22日に、定例の街頭署名行動を行いました。記念日ということで、9名の方々にリレートークに参加していただき、盛り上げていただきました。また、総会の時に団体加入していただいた「宮城のうたごえ協議会」の皆さんも手作りの横断幕をもって参加し、素敵な歌声を披露してくださいました。署名は、26名の参加で26筆を集約しました。



日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める署名

2月22日現在 18,602筆